

2020年度 東通原子力発電所総合防災訓練（3/5）における課題対応等について

1. はじめに

2021年3月5日に実施した東通原子力発電所総合防災訓練において、以下の改善事項を抽出した。
抽出した課題に対し、それぞれ区分を設定し、改善に向けた取組みを検討する。

【抽出された内容】

No.	抽出された課題 等	区分	改善事項 等
1	<p><発電所></p> <ul style="list-style-type: none"> EAL通報文（GE）のFAX送信が所定の時間内（15分）に発信されなかった。 	通報連絡	<ul style="list-style-type: none"> ■ 通報文のFAX送信に係る要員の役割を明確にし、所定の時間内に確実にFAX送信を完了する。
2	<p><発電所></p> <ul style="list-style-type: none"> 分室要員による本部活動の支援について一定の効果はあったが、新型コロナウイルス感染防止対策として要員数を削減した本部要員の負荷をさらに軽減しなければ、本部が輻輳するような場面において各機能班の復旧活動に支障が生じる可能性がある。 	本部運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分室要員が本部活動を支援するための観点で各機能班の活動内容および役割分担を再整理し、分室体制における本部要員の負荷軽減を図る。
3	<p><本店></p> <ul style="list-style-type: none"> 発電所支援や住民避難支援対応を検討するうえで必要な他原子力施設の情報が本店対策本部にて情報共有されなかった。 	情報連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 想定される他原子力施設の情報入手ルートについて整理する。 ■ 各所で入手される他原子力施設の情報のとりまとめ箇所を明確化する。 ■ 他原子力施設の情報を本店対策本部へ情報共有するしくみを整理する。
4	<p><本店></p> <ul style="list-style-type: none"> メインスピーカーの支援要員（サブスピーカー）はEAL該当事象か確認せず、ERC対応ブース発話者（メインスピーカー）へ伝達したため、発電所対策本部で判断していないEAL情報をERCプラント班へ情報発信するおそれがあった。 	役割の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発生事象がEAL該当事象か確認する要員（EAL確認要員）を明確に定める。 ■ 発生事象のEAL該当状況について、EAL判断フロー図にて確認し、ERC発話者へ情報提供するしくみを整理する。

- 改善事項 No. 1 について、通報文のFAX送信に係る要員の役割を明確にし、来年度総合防災訓練までに発電所本部運営訓練等を実施し、更なる改善を図る
- 改善事項 No. 2 について、分室要員が本部活動を支援するための機能班ごとの活動内容および役割分担を再整理し、来年度総合防災訓練までに発電所本部運営訓練等を実施し、更なる改善を図る
- 改善事項 No. 3 について、他原子力施設の情報入手方法および本店対策本部への情報共有するしくみを整理し、来年度総合防災訓練にて改善状況を確認する
- 改善事項 No. 4 について、正確なEAL確認・情報発信するしくみを整理し、来年度総合防災訓練にて改善状況を確認する

2. 検討

№.1：EAL通報文のFAX送信に係る改善<発電所>

(1) 訓練時に抽出された課題

- ・EAL通報文（GE）のFAX送信が目途としている15分以内に発信完了されなかった。

該当EAL	発生時刻	FAX発信時刻
GE22	11時05分	11時26分

(2) 原因・要因

- ・別室にて前報の送信対応をしていたFAX送信者（情報班）は、本部において通報連絡統括から情報班に対して出されたFAX送信指示を把握できなかった。
- ・本部の通報文作成者（情報班）は、別室にいたFAX送信者（情報班）に作成した通報文を印刷したことの連絡と、通報連絡統括からFAX送信の指示が出ている状況について共有していなかった。
- ・本部の情報班副班長は、通報対応が錯綜する場面において当該通報文の送達状況を確認しなかった。

(3) 対策

- ・通報文のFAX送信に係る要員の役割を明確にし、所定の時間内に確実にFAX送信を完了する。
 - －FAX送信者はFAX送信時・送達確認時以外はプリンタ付近で通報文を適宜確認
 - －通報文作成者は作成した通報文を印刷後にFAX送信者へ連絡
 - －情報班副班長が通報文の送信状況を確認する事項を明確化

№.2：分室体制時における本部支援機能の強化<発電所>

(1) 訓練時に抽出された課題

- ・分室要員による本部活動の支援はオーバーサイトの役割として本部長の状況判断に資する助言等が有効であったが、新型コロナウイルス感染防止対策として要員数を削減した本部の各機能班の復旧活動に係る負荷をさらに軽減しなければ、本部が輻輳するような場面において各機能班の復旧活動に支障が生じる可能性がある。

(2) 原因・要因

- ・各機能班の本部要員と分室要員の役割分担を試行していく中で、復旧活動を支援するための観点での役割分担になっていなかったため、本部要員を削減した場合の復旧活動における負荷の軽減に至らなかった。

(3) 対策

- ・分室要員が本部における復旧活動を支援するための観点で各機能班の活動内容および役割分担を再整理し、分室体制における本部要員の負荷軽減を図る。

No.3：他原子力施設に係る情報共有の整理<本店>

(1) 訓練時に抽出された課題

- ・発電所支援や住民避難支援対応を検討するうえで必要な他原子力施設の情報が本店対策本部にて情報共有されなかった。

(2) 原因・要因

- ・想定される他原子力施設の情報入手ルートについて整理が十分ではなかった。
- ・各所から入手される他原子力施設の情報のとりのまとめ箇所が不明確であった。
- ・他原子力施設情報を本店対策本部へ情報共有するしくみが整理されていなかった。

(3) 対策

- ・想定される他原子力施設の情報入手ルートについて整理する。
 - －想定される情報入手先（例：協力協定，県庁，OFC，報道内容等）
 - －想定される情報入手先について関係箇所と認識を共有
- ・各所で入手される他原子力施設の情報のとりのまとめ箇所を明確化する。
- ・他原子力施設情報を本店対策本部へ情報共有するしくみ(情報共有方法，ツール等)を整理する。

No.4：正確なEAL情報発信に係る改善<本店>

(1) 訓練時に抽出された課題

- ・発電所コントローラによるEALに係る誤情報が付与された際，プラント情報窓口担当は発電所対策本部の音声から入手したEAL情報を速報としてメインスピーカーの支援要員（サブスピーカー）へ情報伝達した。メインスピーカーの支援要員（サブスピーカー）はEAL該当事象か確認せず，ERC対応ブース発話者（メインスピーカー）へ伝達したため，発電所対策本部で判断していないEAL情報をERCプラント班へ情報発信するおそれがあった。

(2) 原因・要因

- ・発生した事象がEAL該当事象か確認する要員を明確に定めていなかった。
- ・メインスピーカーの支援要員（サブスピーカー）は，EAL判断フロー図等のツールを使用してEAL判断根拠を情報提供していなかった。

(3) 対策

- ・発生事象がEAL該当事象か確認する要員（EAL確認要員）を明確に定める。
- ・発生事象のEAL該当状況について，EAL判断フロー図にて確認し，ERC対応ブース発話者（メインスピーカー）へ情報発信するしくみを整理する。

以上